

## シンポジウム 17：地域緩和ケア：世界・研究の視点を踏まえて OPTIM 後の日本を見る

<b>演題名</b>	英国の地域緩和ケアの現状：プライマリケアと緩和ケアの国から
------------	-------------------------------

### 概要

現代ホスピス運動発祥の地として知られる英国は、プライマリ・ケアを中心に据えたヘルスケアシステムを持つ国でもある。ロンドンの緩和ケア修士課程の授業で学んだこと、GP 診療所・地域緩和ケアサービス・時間外診療などの臨床見学で見してきたことを中心に、英国の地域緩和ケアの概要を示したい。

地域緩和ケアにおいては、General practitioner (GP, プライマリ・ケアの専門医) を中心とするプライマリ・ケア・チームと、専門緩和ケアチームの協働により患者ケアが提供される。専門緩和ケアチームはプライマリ・ケア・チームのアドバイザー役が期待されており、患者との関わりの密度や期間はケースによってさまざまである。時間外ケアも、基本的にはプライマリ・ケア・チームが担っており、必要に応じて専門緩和ケアチームに連絡・相談が行くことになる。

そのほか、周辺の制度や質管理、今後の展望について時間の許す限りで示したい。